

令和 6 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

山梨県

行事名称	第 7 1 回文化財防火デー 尾県郷土資料館火災防御訓練
実施期間・日時	令和 7 年 1 月 2 5 日 (土) 10 : 00 ~ 11 : 00
実施場所	山梨県有形文化財旧尾県学校校舎 (山梨県都留市)
主催者	都留市消防署、小形山自治会、尾県郷土資料館協会、都留市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

資料館 1 階東展示室から出火、2 階へ延焼拡大、さらに開口部からの噴出した火炎により、隣接する稲村神社へも延焼する恐れがある。

訓練の内容

火災を発見した見学者 (市教委職員) の《火事だー》の合図で訓練開始。

↓

館長は見学者を避難誘導し、119 番通報する。

↓

防火協会会員による重要物品 (模擬) の搬出、消火栓からの放水・バケツリレーによる火災防御。

↓

隣接する稲村神社境内地において防火協会・地元消防団・消防署が神社脇の木に向け放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

- ・資料館館長 (1 名) : 119 番通報、見学者の避難誘導
- ・資料館防火協会会員 (30 名) : 初期消火 (バケツリレー)、重要物品の搬出、放水訓練
- ・地元消防団 (15 名) : 放水訓練
- ・都留市消防署 (11 名) : 全体統括、放水訓練、講評
- ・都留市教育委員会 (2 名) : 現場立会い・火災発見見学者役
- ・都留市市職員 (1 名) : 広報用写真撮影
- ・見学者 (20 名) 地元住民の方々 (小学生、幼児含む)

計 : 80 名

特に工夫した点

訓練後に、隣接する神社の境内で、水消火器による消火訓練と開催し、参加者に消火器の使い方の指導をおこなった。なお、見学に来ていた小学生に重点的に参加してもらった。

また、災害時の炊き出し訓練として、豚汁の炊き出しを行った。

問題点・課題

防火協会会員・自主防災会として活動する方々の高齢化が顕著であり、現役世代の参加が今後の課題と考えられる。

その他

この地区では、文化財防火デーに伴う消防訓練を長年実施してきており定着しているので、今後も継続していきたい。

訓練風景



火災発見



重要物品の搬出



防火協力会による初期消火訓練風景 (バケツリレー)



防火協力会・地元消防団・消防署による
初期放水訓練



消火器の使用法指導



炊き出し訓練